

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商 工 会 名	山口（都道府県） 山口県央 商工会		青年部員名	木原利昌
企 業 名	株式会社木原製作所		代表者名	木原康博
企 業 概 要	業 種	製造業	設 立 年	1902年
			従業員数	70人
補助事業名	平成28年度創業・新事業支援助成金【成長支援枠】			テーマ区分(選択)
				新商品開発
<p>【施策・政策を活用した経緯】※企業の経営状況、問題・課題等を含め記入</p> <p>・2008年、現社長に世代交代してから新市場の開拓として食品乾燥機の開発・販路拡大を進めている。展示会、ホームページ、広報活動を積極的に展開してきた成果でネットのみでも年間400件超の問い合わせが寄せられるようになった。国内全域、海外に納品するため、現在の主要製品である小型食品乾燥機について、必要な機能を充実させ、ユーザーメリットをより分かり易く、設置・メンテナンスをより簡単に短時間で確実にできるように、シリーズ全般のリニューアルを手掛けるためこの助成事業を活用することにした。</p>				
<p>【主な活用内容、方法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部署横断でリニューアルのワーキンググループを構成。 ・外部の支援・協力機関として、(国研)産業技術総合研究所、(地独)山口県産業技術センター、プロダクトデザイナー、グラフィックデザイナーを加え、12回のワークショップを開催。「顧客起点」を基本にユーザー・市場・製品のイメージ、企業のあるべき姿等を協議し、製品仕様落とし込む作業を実施。 ・食品安全工学の専門家を招き7回の「国際安全規格対応講習会」を開催することで、安全工学の基礎～応用までの知識を全部署横断で学び、国際安全規格に対応し海外展開に応えられるよう、社員と製品の飛躍的なレベルアップを実施。 			<p>写 真(3枚程度)</p>  	
<p>【活用の成果】</p> <p>2016年7月～2018年2月までの期間で現在進めている事業のため、目標値を記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品単体の初年度年間売上目標 1億円(100台) ・知財取得 4件 ・グッドデザイン賞の受賞 				
<p>【活用後の声】(現時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産総研や産技センターの支援を受けながらプロジェクトを進められるお蔭で、デザイナーとの協業による製品開発のプロセス・手法について、落とし込み方が理解できるようになった。 ・ユーザーの聞き取り調査やワークショップへの参加により、顧客起点の考え方が社内に広がった。 ・製品開発について最も重要な「安全」ということについて、国際規格に対応できる程度までの知識が身に付いた。 				